

Management Club Report

Jun.2023/Vol.246

Monthly Opinion 《歯科医療は世界平和に向けて》

ウクライナ戦争の終結が見通せない世界情勢下、様々な物価上昇が引き起こされるなど世界中の人々の生活にマイナスの影響を与え続けながら2023年は、早くもその半分を経過しようとしています。

『戦争』という莫大な損失を余儀なくされる、実に不合理で悲惨で残忍で馬鹿げた活動が、絶対に肯定されないはずのこの21世紀、それも既に23年もの時が過ぎようとしている今、国家間の争いとして展開されている現実を私たちはどう捉えたらよいのでしょうか。

国際法の下に平和を維持し、意見や方針の違いは外交交渉によって解決してきているはずの国際社会であるにも拘らず、仮に対立があったにせよそれを戦争にまで発展せざるを得ないのは、平和な法治国家においても、強盗事件や暴力事件が無くならないのと同じ、人間の愚かさの一つなのではないでしょうか。

帝国主義が世界を支配していた19世紀半ばに鎖国を解かれた日本は軍事国家の道を歩まざるを得なかったのかもしれませんが、莫大な犠牲を払い数えきれない損失を積み重ねることで、心の底から恒久平和を願いそれを実現しようとする国家へと変貌しました。これはまさに私たちの父母や祖父母が血と涙を流し、国家が滅亡に至るほどの失敗から学んだ学習成果であったと思います。

今月は本 *Management Club* の一人の会員が7年越しで成し遂げた一つの偉業から私が学び感銘を受けたことを紹介し、戦争体験はないものの、歴史を通して学んだことをまとめてみようと思います。

1

一人の歯科医師の熱き思いと行動力が結実

『芙蓉博物館』開館！

6月22日木曜日午前10時、福岡県豊前市において戦時中活躍した日本海軍の零式水上偵察機を展示する博物館の開館式が行われました。その博物館は『芙蓉博物館』と命名され、建築主でもある館長は、すぐ近くでわたなべ歯科クリニックを経営する渡辺知則先生です。

小倉から日豊本線、大分行きの特急に乗って約30分。宇島（うのしま）という小さな駅に着きます。駅ビルや地下街が併設され、利用客でごった返す東京や横浜の駅に慣れている私は、宇島駅のような牧歌的な雰囲気には郷愁を感じてしまい、思わずあの有名なカントリーソングが口をついて出てきそうでした。

♪ 汽車から降りたら 小さな駅で 迎えてくれる ママとパパ～♪